

医療従事者の負担軽減および処遇改善

当院では勤務医・看護職員・医療従事者の負担軽減及び処遇改善のため、  
下記のような取り組みを行っております。

部門	改善項目	取組み
診療部	◆タスク分	多職種との役割分担を図る
	◆診療体制	外来診療枠の整理と業務の標準化を推進する
	◆働き方	①診療部内業務を調整し労働時間管理の適正化を図る ②当直を配慮した勤務体制を構築する ③短時間正規雇用医師の活用による医師確保を行う
	◆業務効率	①地域連携を促進し適正な入退院支援により診療体制の負担軽減につなげる ②患者相談室の利用を促進し、患者対応支援の早期介入を行う ③紹介・逆紹介推進のための地域医療機関との関係性を構築する ④クリティカルパスの見直しを行う
看護部	◆業務量調整	①病棟状況に応じた看護師遅番体制を作る ②病棟状況に応じた他部署からの応援体制を確保する ③始業時間前残業Oに向けた各部署業務改善する ④入院時支援部門増員および業務拡大する
	◆業務効率化	①スポットチェックモニターを活用する ②LINE、動画を用いた入院・内視鏡案内の半自動化を進める ③記録のDX化推進する ④メッセージを導入する ⑤外来検査説明センターを設置する ⑥看護補助者の配置を調整する
	◆働き方	夜勤の配置及び応援体制を検討して負担軽減を図る
	◆タスク分	多職種との役割分担を図る
薬剤部	◆タスク分	薬剤部内の事務職員へ業務移譲を促進する
	◆業務効率	確認プロセスの簡略化を図る
リハビリテーション部	◆業務量	①残業申請の統一ルールを作成し業務量を把握する ②カルテ記録テンプレートの作成と活用を推進する ③デジタル化、ロボットの活用を推進する
	◆人員数	①SNSを活用した採用活動を促進する ②実習生を受入れ当院の魅力をってもらう取り組みを実施する ③就職説明会の参加数を前年度より増やす
	◆情報一元化と共有	①院内委員会活動内容の部内共有を促進する ②院内情報共有のためにCOMTEックス掲示板の閲覧習慣化を促進する ③情報の一元化と共有のためにPCフォルダ活用を促進する
医事課	◆診療体制	①外来DCと看護で科別マニュアル作成や業務の引き継ぎを実施する ②診療科や医師別の対応を標準化し、業務効率を図る ③検査説明センター運用開始し人員配置変更につなげる ④選定療養費算定に関する整備を行う
	◆業務体制	①診療体制変更に伴う課内業務負担をシェアして調整する ②診療情報提供書への返書管理の効率化を図る ③診療科別文書作成関連業務のタスクシェアを行う ④処方関連書類のスキャン・管理等の定着を図る
	◆働き方	①マイナ保険証の利用を促進する ②ポケさぼの活用を促進する ③AI問診の活用を促進する ④電子サインを導入する
栄養科	◆業務効率	①記録の標準化および効率化を図る ②嚥下調整食の栄養量を見直し栄養介入業務の効率化を図る
検査科	◆働き方	①休憩に関する環境確保や業務調整を推進する ②作業効率向上のために業務環境の快適化を図る
	◆業務効率	検査説明にかかる時間をDx化により効率化を促進する
放射線科	◆働き方	OPE室イメージ、アンギオの使用が無い曜日に多くのスタッフを休みにする
臨床工学科	◆働き方	①清潔野担当可能者を1名増員し3名体制とする ②モニタリング担当可能者を1名増員し、5名体制とする